

# 28 沖縄県建設業ゼロ災運動を展開中

沖縄労働局



27年7月 那覇市内の建設現場を合同パトロール。



27年12月 見える化コンクール表彰式



27年1月 ゼロ災運動キックオフ会議



ハーネス型安全帯を積極的に使用しよう!

28年7月4日 浦添市内の橋梁建設現場を合同パトロール。

沖縄労働局、沖縄総合事務局、沖縄県、建災防沖縄県支部の主唱者

琉球朝日放送 報道制作部 ニュースQプラス  
労働局長が現場安全パトロール



7月1日から始まった全県内でも建設現場のパトロールのうち2017年度末に架橋で行われたパトロールが二局長が作業工程の内部の工事がきちんた。

県内では2015年1年間で172人が産業事故にあっていて、うち5人が死亡しています。

転載・2次利用はご遠慮ください

沖縄テレビ (OTV) ニュースでも報道

県内の建設現場 労働局長が視察 安全対策を確認  
沖縄労働局の待鳥浩二局長(写真右)は4日、浦添市牧港の国道58号浦添北道路の建設現場を視察し、転落防止策など安全な労働環境が整えられているか確認



国安全週間の一環で、事業者への安全対策の徹底と安全意識を高めることが狙い。架橋に上り、手すりなどの転落防止策や熱中症対策、クレーン車など機材の取り扱い手順が適切かをチェックした。視察後、「建設現場では重篤な事故につながる転落事故が最も多い。安全意識を持ち、対策を講じてほしい」と呼び掛けた。労働局によると、2015年の県内建設業での死傷者は172人で前年比17人減少した。一方、死者は5人で、前年より1人増加している。

沖縄タイムスに掲載